

---

---

# 新しい日本の首都構想

---

---

岐阜愛知新首都推進協議会

\*「新首都」という表現について

「新首都」とは、「首都機能の移転先となる新都市」のことです。  
この報告書ではわかりやすく「新首都」と表現しています。

# はじめに

---

平成11年12月20日、国会等移転審議会の答申により「岐阜・愛知地域」が首都機能移転先候補地の一つとして選定されました。現在、国会において移転先決定に向けての議論がなされているところです。

岐阜、愛知両県の様々な団体で構成する「岐阜愛知新首都推進協議会」では、多くの方々のご意見やアイデアをいただきながら、新しい日本の首都はいかにあるべきか、検討を進めてきました。平成13年4月には中間報告を公表し、これをもとに国民や有識者等からご意見をいただき、このたび「新しい日本の首都構想」としてとりまとめました。

今後、この構想をもとに、新しい日本や首都の姿について幅広く議論していただきたいと思います。

平成14年3月

岐阜愛知新首都推進協議会

## 首都機能移転に関する主な経緯

時 期	内 容
平成 2 年 1 1 月	国会等の移転に関する決議（衆参両院）
平成 4 年 1 2 月	国会等の移転に関する法律（議員立法）
平成 5 ～ 7 年	国会等移転調査会での審議（移転の意義・効果、移転先の選定基準等）
平成 8 年 1 2 月	国会等移転審議会による審議開始
平成 1 1 年 1 2 月	国会等移転審議会答申（移転先候補地の選定等）
平成 1 2 年 5 月	衆院特別委による決議（2 年を目途に候補地を絞り込み）
-----	
	首都機能移転先候補地の決定
	国民の合意形成、社会経済情勢の諸事情に配慮し、東京都との比較考量を通じて移転について検討
	移転先について法律制定
建設開始から約 1 0 年	新都市で国会を開催

## 首都機能の移転先候補地



# 目次

---

## はじめに

．新時代の日本と新首都	1
1．新時代の社会潮流と新しい国家像	2
2．国民や地域からみた首都機能移転の意義	4
3．新首都に求められる条件	6
．岐阜・愛知地域の魅力	11
1．日本の真ん中	12
2．充実した交通基盤	13
3．豊富な地域資源	14
．岐阜・愛知地域が提案する新首都	17
1．新首都づくりの考え方	18
2．新首都の都市像	20
3．新首都のフレーム	25
4．新首都の都市構造	28
．ようこそ新首都へ！	37



## ・新時代の日本と新首都

# 1 . 新時代の社会潮流と新しい国家像

---

## ( 1 ) 新時代の社会潮流

### 交流と連携

21世紀は、IT（情報技術）の急速な普及、高速交通の一層の発展等により、経済、社会、生活のあらゆる面において、従来の市町村や都道府県、さらには国家といった枠組みを超えた動きが一層進むと考えられる。

その中で、都市間、地域間の競争もいっそう激化し、交流と連携がより重要となる。



### 環境問題と環境意識の高まり

20世紀における産業文明の急速な進展の一方で、地球温暖化・生態系の破壊など、環境問題の解決が懸案となっている。

こうした状況の中、環境に対する意識が急速に高まっている。

今後は、まちづくりや暮らし方において、環境共生の考え方が、必要不可欠なものとなる。



### 「個」の確立

わが国では、少子高齢化・価値観の多様化などが急速に進んでおり、それに伴い、家族のあり方、雇用形態、社会保障制度等に大きな構造変化が起こっている。

また、地域づくりや公共サービスにおいて、NPOやボランティア等の参画が広がっている。

このように自立的で多様な「個」が、互いに交流・連携しながら社会を形成しつつあり、行政は、これらの活動の支援、コーディネートを担うコンパクトなものとなっていく。





---

## ( 2 ) 新しい国政のあり方

### 国民が主役の国政

国民一人ひとりが、自己の考え、責任において主体的に行動するようになる。今後は、その取組みを地域社会、さらに、自治体、国が補完していくシステムとなり、国の役割は小さくなっていく。



### 機能的・効率的な政府の実現

国の役割が小さくなることに加え、ITを活用した電子政府の実現や、行政改革の推進により、国政は格段に機能的、効率的になっていく。



### 国際社会への貢献

今後、わが国は、アジアをはじめ世界との交流・連携の中で新しいルールの形成に積極的に寄与していくことで、世界の発展に貢献することが求められる。



## 2 . 国民や地域からみた首都機能移転の意義

---

### ( 1 ) 国政改革の推進

これからは、国民や地域が主体的に国政に取り組むことが重要となり、そうした視点からの国政改革の推進が必要である。

しかし、首都機能を東京に残したままの改革では、政治と経済の関係、国と地方の関係等について従来の構造を引きずることとなる。

首都機能の移転を契機に、地方分権、行政改革、規制緩和等、国政改革を本格的に推進することにより、新たな国と地域の間を築き、国と国民の新しいネットワークが構築できる。

### ( 2 ) 東京を頂点とする構造の変革

首都機能移転については、東京の過密解消という効果も期待できるが、重要なことは、東京が一番だ、東京が何事も日本をリードするという、東京を頂点とした序列意識を変革することである。

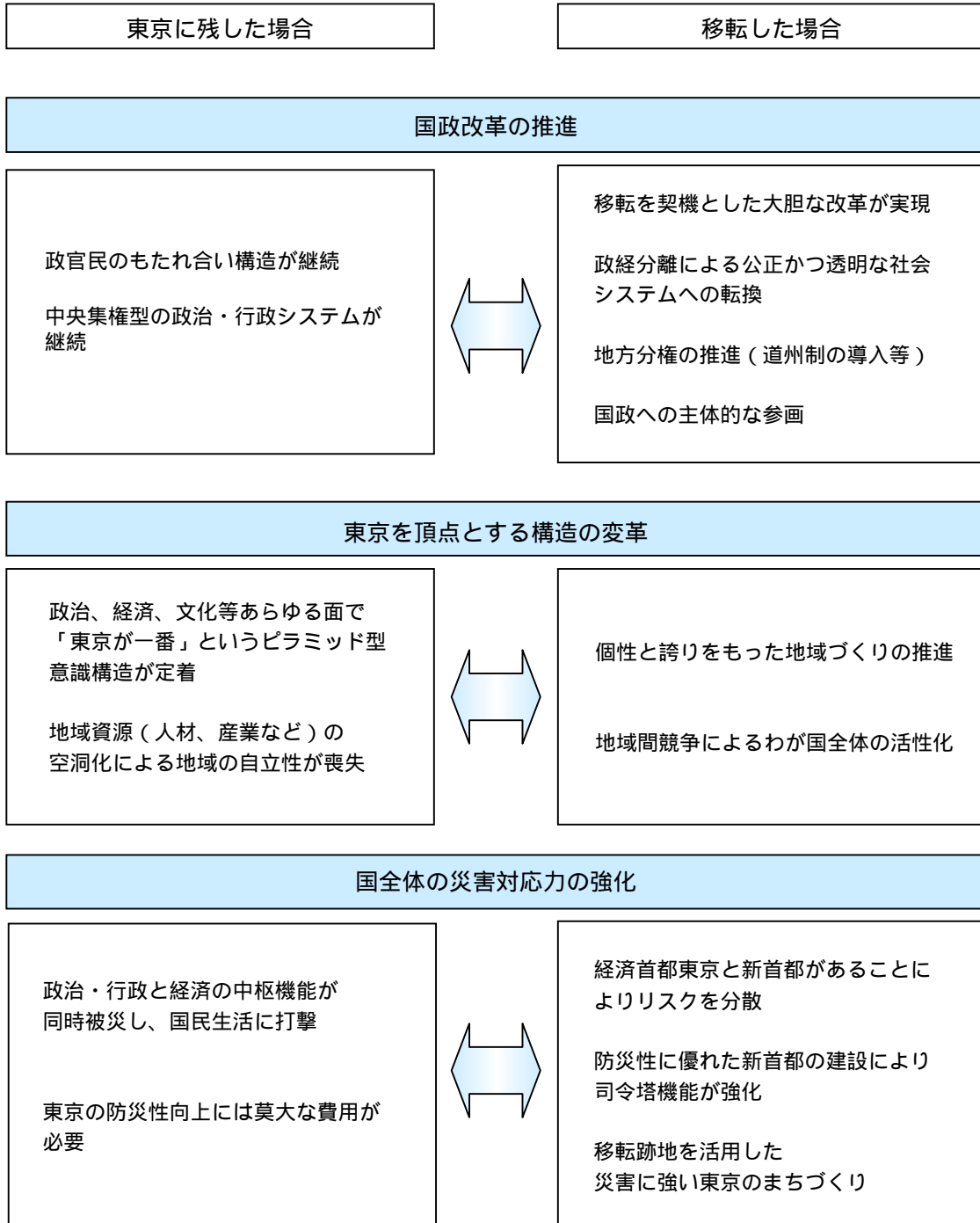
首都機能移転と地方分権の推進により、それぞれの地域の人々が、地域特性に根ざし、誇りをもって地域づくりに取り組むことにより、ネットワーク型国土を実現することが可能となる。

### ( 3 ) 国全体の災害対応力の強化

すべての機能が集中している東京に大規模な自然災害やテロ等の不測の事態が起これば、東京だけでなく、日本全体の機能が麻痺し、国民生活に重大な影響を及ぼすこととなる。

首都機能移転により、政治・行政と経済の中核機能の同時被災を回避することができるだけでなく、防災性にすぐれた新首都ができることで、わが国の危機管理能力が飛躍的に向上する。

## 首都機能移転の意義



### 3 . 新首都に求められる条件

新首都には、新しい時代の日本を創造していくための効果的な政策を、迅速かつ効率的に企画立案し、実行していくことのできる環境が、最重要の機能として期待される。

このため、政策立案に必要な基盤・施設を集積することが必要であるほか、国内外とのネットワークを確保することが必要となる。また、人間らしい国政を実現できるよう、新首都自体が豊かなライフスタイルを実現できる都市であることが求められる。

#### ( 1 ) 便利で安全な立地環境であること

##### 交通・情報ネットワークと都市サービス

新首都は、国内の各地域や海外との往き来が迅速かつ円滑にできることが重要であるため、道路、鉄道、航空等の各種交通ネットワークの充実が不可欠である。また、新首都には、国政の要として、円滑な情報の交流を可能とする高度な情報ネットワークが必要となる。

さらに、新首都の人々が快適に生活し、仕事ができるよう、質の高い都市的サービスを楽しむことができることが必要である。

岐阜・愛知地域は、国土の交通ネットワークの要に位置し、情報産業の集積により新しい情報ネットワークへの対応も容易であるだけでなく、多治見市、豊田市さらに名古屋などの都市機能を活用することができる。

##### 高水準の危機管理能力とセキュリティ

新首都は、自然災害に強いことはもちろん、テロ等の不測の事態にも対応できる司令塔として機能することが求められる。

また、国政に関わる人々が、安全かつ安心して取り組めるよう、防犯体制や情報セキュリティ等が確保されることも重要である。

岐阜・愛知地域の大部分は花崗岩などの強固な地盤で覆われ、地震による大きな被害を受ける可能性が少ない。また、火山からも離れており、火山災害による危険性もきわめて少ない。



岐阜・愛知地域の交通ネットワーク



被害地震の震央分布図

## ( 2 ) 国際社会に積極的に貢献すること

### 活発な国際交流の場の提供

新首都では、日本の国際社会への貢献を積極的に展開することが必要である。特に、国際会議や交流イベントが開催できる施設を備える等、国際社会への貢献活動を展開できる環境が必要となる。

岐阜・愛知地域は、24時間運用の国際空港と30分台で直結可能であり、世界とのアクセスに優れている。また、既存の高度な都市機能も活用できる。

### 世界の模範となる政策の展開

新首都は、世界各国・地域の政策展開のモデルとなるような取り組みを積極的に進め、国際社会を先導する都市となる必要がある。

岐阜・愛知地域は、世界的なモノづくりの先進地であり、新時代に対応した政策を展開する土壌がある。



中部国際空港  
出典：中部国際空港株式会社ホームページ  
<http://www.cjiac.co.jp>



#### 【中部国際空港の概要】

種別 : 第1種空港  
運用時間 : 無制限(24時間)  
滑走路 : 3500m 1本(第1期)  
開港 : 2005年予定

### ( 3 ) 新時代のモデル都市となること

#### 豊かなライフスタイルを実現する都市

新首都には、そこに住む人々が、それぞれの価値観に応じたライフスタイル、ワークスタイルを選択できるよう、都市的サービスをはじめとする様々な機能が充実していることが求められる。また、移転してくる人と、以前から住んでいる人が交流し、新たなコミュニティの形成や、価値観が創造される都市でなければならない。

岐阜・愛知地域には、都市機能、リゾート資源、伝統文化などの豊富な地域資源があり、価値観に応じたライフスタイルが選択できる条件を有している。

#### 人と自然とが共生する都市

新首都づくりにあたっては、自然環境への負荷を最小限に抑えることが必要である。

また、交通、エネルギー、水供給等の都市システムにおいて環境負荷の低減を図る等のサステナブルな（持続性のある）都市運営も求められる。こうして、新首都では、環境共生型のライフスタイルが定着し、人と自然が融合した新たな環境が創造される。

岐阜・愛知地域は、豊かな自然環境の中に、モノづくりで培われた最先端の環境技術を活用した都市づくりを進めることができる。また、2005年に開催される国際博覧会の成果が活用できる。



高次の文化機能(愛知芸術文化センター)



リフレッシュできる環境  
(花フェスタ記念公園の日本一のバラ園)



2005年日本国際博覧会イメージ  
出典：日本国際博覧会協会ホームページ  
<http://www.expo2005.or.jp>



地形を生かした建築(セラミックパークMINO)



### 高度に情報化された都市

新首都には、高速大容量の情報通信基盤の整備により、利用者のニーズに的確に対応する各種情報サービスの提供が求められる。

岐阜・愛知地域には、情報技術に関する先進的な取組みが進められており、その成果を活かした都市づくりが可能である。

### 誰もが快適に移動できる都市

新首都には、人々が便利で快適に移動できるよう、様々な交通機関が相互に連携した交通システムの導入が求められる。また、障害者・高齢者や子ども、外国人等、誰もが安全で利用しやすい交通体系や施設の整備が求められる。

岐阜・愛知地域は、既に交通基盤が充実しており、これに現在この地域整備が進められているITS（高度道路交通システム）等の技術も活用することができる。



VRテクノジャパン  
出典：VRテクノジャパンホームページ  
<http://www.pref.gifu.jp/s11338/vr/Tplaza.htm>



ITSを活用したスマートウェイのイメージ  
出典：国土交通省道路局ITSホームページ  
<http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/>



リニア中央新幹線

---

## ( 4 ) 新時代の日本の首都としての 風格を備えること

### 誇りのもてる景観形成

新首都は、新しい日本を象徴する都市として、国民が誇りをもつにふさわしい魅力的な景観形成を行う必要がある。

岐阜・愛知地域は、恵まれた地域資源を活かした魅力的な景観形成が可能である。

### 伝統文化とのふれあいと新たな文化の創造

新首都では、日本の伝統文化に触れられる機会を提供するとともに、国内外の様々な人々の交流の中から、新しい日本にふさわしい新たな文化を創造していくことが必要である。

岐阜・愛知地域は東西文化の交流に培われた歴史文化があることに加え、交流の中から新たな文化を創造・発信できるネットワークがある。

### ホスピタリティの充実

新首都には、国内外の来訪者を温かく迎え入れる環境を整える必要がある。

岐阜・愛知地域は、国内外の交流拠点としての特性を生かした整備が進んでいることに加え、国際博覧会の開催を通じ、ホスピタリティがさらに高まる。





## ・ 岐阜・愛知地域の魅力

# 1 . 日本の真ん中

## 国土の中央

岐阜・愛知地域は、地理的に国土の中央に位置し、人口分布の中心を示す人口重心にも接している。

また、全国各地からのアクセスが容易であり、移転に関して国民的な合意が得られやすい地域である。

## ネットワーク型国土の要

岐阜・愛知地域は、国土づくりの方向を示す4つの国土軸が交わる位置にあり、わが国の文化、交通、情報ネットワークの結節点となっている。

また、東日本と西日本、太平洋側と日本海側のどちらにもアクセスしやすいことから、ネットワーク型国土の交流・連携の要となっている。



## 2 . 充実した交通基盤

### 24時間運用の国際空港と直結

岐阜・愛知地域から鉄道、道路により迅速、円滑にアクセスできる24時間運用の中部国際空港の整備が進められている（2005年開港予定）。

### 国内各地を結ぶ広域交通網

岐阜・愛知地域は、古くから東西南北の交通の要衝であり、全国との円滑な交通アクセスを可能とする道路、鉄道、航空すべての交通基盤が既に整備されている。

また、東京とのアクセスにおいても、鉄道、道路とも複数の経路で結ばれている。

将来的には、リニア中央新幹線の整備も計画されており、広域アクセスがより一層向上する見込みである。

### 充実した地域交通網

岐阜・愛知地域及びその周辺には、既に様々な地域交通網が整備されているが、さらに、東海環状自動車道などの新たな交通基盤整備も進んでいる。



全国から名古屋空港への国内線ネットワーク

### 3 . 豊富な地域資源

#### 周辺都市群の都市機能

岐阜・愛知地域には、豊田市、多治見市などの都市があり、これらの都市の生活利便サービスを活用することができる。

#### 名古屋の都市的サービスの享受

岐阜・愛知地域は、名古屋と容易にアクセスが可能であり、名古屋の持つ高度な都市機能が活用できる。なお、名古屋との間には緑に覆われた丘陵地帯（グリーンベルト）があり、連続した市街地の形成を防いでいる。

#### 先端産業や伝統文化の集積

この地域は、自動車、セラミック等の「モノづくり」における世界的な産業集積地となっている。さらに、あいち学術研究開発ゾーンや研究ネットワーク都市・アークぎふなど学術・研究機能の集積が図られている。また、2005年には国際博覧会の開催が予定されており、最先端の環境技術等その成果の都市づくりへの活用も期待される。

その他、東海道、中山道などを通じた地域交流により生み出された様々な文化資源を擁している。



多様な観光・リゾート空間の充実

岐阜・愛知地域は、豊かな丘陵景観をもち、都市と自然とが適度に近接した地域を形成している。また、三河湾、伊勢湾の海洋リゾートや、飛騨・木曽山系の森林リゾートに囲まれており、豊かな自然環境と日常的に触れ合うことができる。



名古屋市都心部



世界的な産業集積（自動車産業）



IT産業への先駆的な取組み  
（ソフトピアジャパン）



伝統と新しさが融合する街（オリベストリート）



中山道の石畳



三河湾の海洋リゾート（ラグーナ蒲郡）

優れた土地条件・水資源

地域内には、活用可能な開発済み地や取得可能な国公有地が多く存在している。また、木曾川水系・矢作川水系の豊富な水資源にも恵まれている。



国会等移転審議会における  
総合評価の検討地域



50ヘクタール以上の一団性を有する  
国公有地・開発済み地の分布状況

木曾川水系・矢作川水系のダム

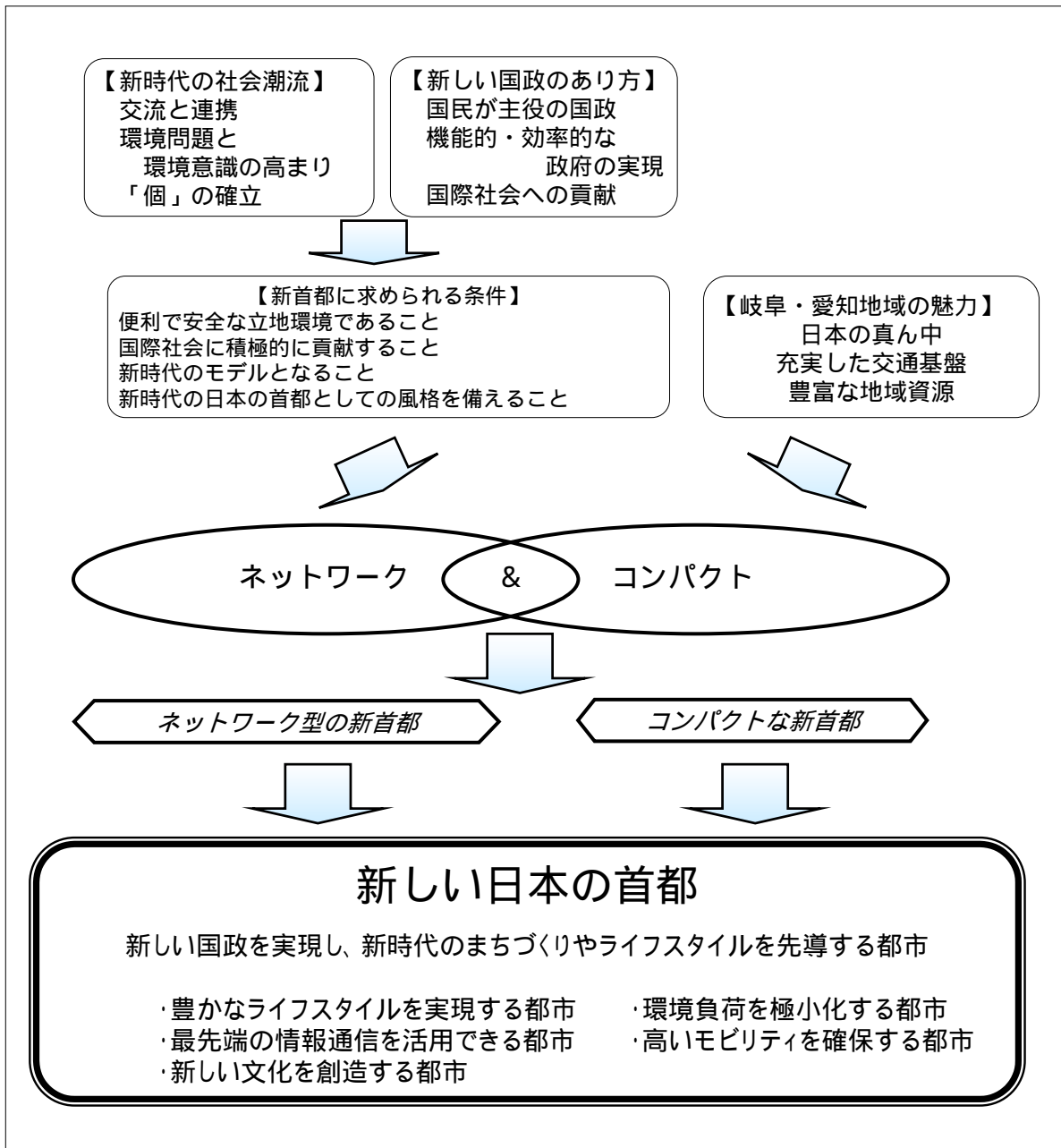




・ 岐阜・愛知地域が提案する  
新首都

# 1. 新首都づくりの考え方

新首都に求められる条件と、岐阜・愛知地域の共通項として、「ネットワーク」と「コンパクト」というキーワードが導き出される。

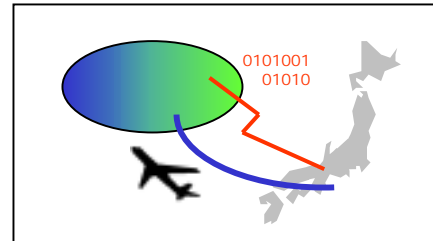




## ( 1 ) ネットワーク型の新首都づくり

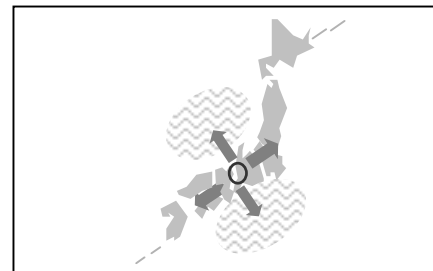
### 世界とのネットワーク

国際的な政治・文化活動にふさわしい環境・施設を整備し、国際交流・貢献の拠点となる首都を実現する。



### 全国各地とのネットワーク

わが国の交通や交流の要衝に位置するメリットを活かし、全国各地との交流・連携の要となる首都を実現する。



### 地域の既存機能とのネットワーク

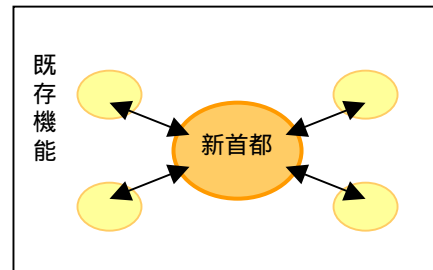
既に整備されている多様かつ適度な都市機能、研究開発機能、リゾート機能等を十分活用した首都を実現する。

### 国政機能相互間のネットワーク

国政の諸機能が相互に有機的に結ばれることで、機能的で効率的な首都を実現する。

### 多様な主体間のネットワーク

NPO等多様な主体間のネットワークを確立し、国政を支える首都を実現する。



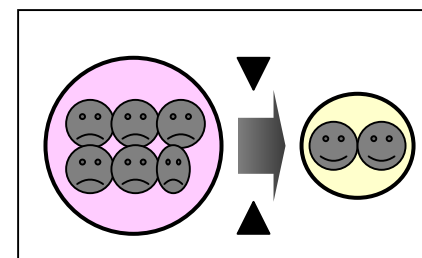
### 高度な交通・情報ネットワーク

高度な交通、情報通信基盤を整備し、多様なネットワークに支えられた新首都を実現する。

## ( 2 ) コンパクトな新首都づくり

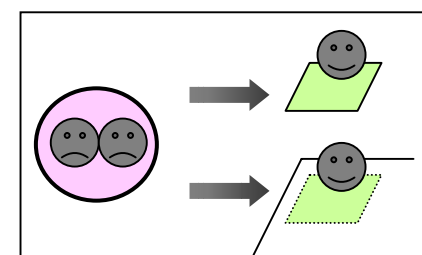
### 小さな政府の実現

地方分権、規制緩和の徹底などにより、国政が担う機能自体をスリム化し、合理的・効率的な新首都を実現する。



### 移転規模の抑制

既存都市が持つ生活利便サービスなどの諸機能や充実した交通基盤を活用することにより、移転人口、面積を抑制し、移転費用も縮減した首都を実現する。



### 環境負荷の極小化

開発済み地の活用による新規造成の抑制や、新しい環境技術の導入により、自然環境に負担をかけない首都を実現する。

## 2 . 新首都の都市像

ネットワーク型でコンパクトな「新しい日本の首都」は、新しい国政を実現し、新時代のまちづくりやライフスタイルを先導する都市として、新しい時代、そして世界をリードする。

### ( 1 ) 豊かなライフスタイルを実現する都市

#### 多様な住まい方の選択

新首都に集まる人々の居住環境として、母都市での居住、田園・中山間地域での居住、リゾートエリアでの居住など多様な住まい方が選択できる。

また、名古屋市を持つ高次の商業・文化・サービス等の機能を最大限に活用するとともに、豊田市や多治見市などの母都市群の生活関連サービス機能の活用を図る。

さらに、三河湾、伊勢湾における豊富な海洋リゾート資源、飛騨・木曽山系の森林リゾート資源を活用し、休日には豊かな自然の中でリフレッシュできる環境を提供する。

#### 生活を支える地域コミュニティ

新旧の住民が交流・連携することにより、新たな地域コミュニティを形成し、障害者、高齢者の生活支援や次世代を担う児童・青少年の育成、地域の安全等を一体となって支えていく仕組みをつくる。

#### 環境にやさしいライフスタイルの実現

省エネルギー、リサイクルの徹底、ごみの削減に努め、環境に負荷をかけないライフスタイルを実現する。

#### 多様な人々の生活・交流の場

新首都に集まる様々な国の人々が、快適な生活や交流ができるよう、これらをサポートする施設を整備するとともに、人材育成のための場づくりを行う。



---

## ( 2 ) 環境負荷を極小化する都市

### 新規造成の徹底的な抑制

ゴルフ場などの開発済み地や既存市街地を整備・活用することにより、新規の造成を徹底的に抑制し、緑豊かな環境を維持する。

### 自然環境や地形を活かした都市整備

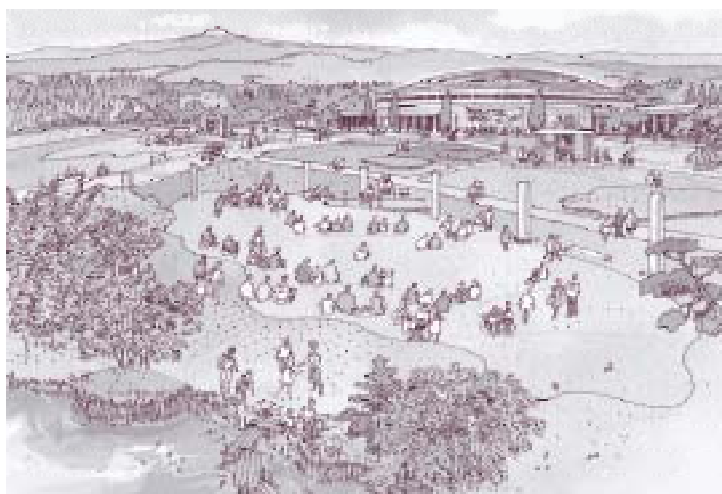
丘陵や水辺など豊かな景観や地形を最大限に活かした都市整備を行うことで地形の改変を極力抑制する。

### 自然環境に配慮した機能配置

大規模な一団の開発を行わず、自然環境に十分配慮した機能配置とすることで、環境負荷の低減を図る。

### 自然環境と持続的に共生する都市マネジメント

「モノづくり」における世界レベルの開発技術力や国際博覧会での成果を最大限に活かすとともに、交通、エネルギー、水供給等における環境負荷を低減し、循環型の都市を目指す。



---

## ( 3 ) 最先端の情報技術を活用できる都市

### IT関連の研究開発機能の活用

スイートバレーやあいち学術研究開発ゾーン等における研究開発成果を新首都の整備・運営に活かしていく。新首都を先導的、実証的な実験フィールドとして、情報技術に関する研究開発を推進し、新たな産業を創出していく。

### 高度情報技術を活用した政策立案

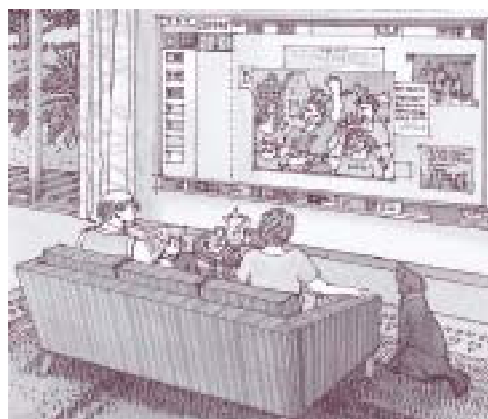
国内外の各地域と緊密に連携するとともに、国民が参画しやすい情報ネットワークを整備し、迅速で的確な政策を立案できる環境を整える。

### 危機管理の司令塔

新首都は、災害に強く安全な情報システムを備え、全国各地の自然災害やテロ等の不測の事態に対応する司令塔として機能する。

### 情報技術を活用した生活サービスの提供

高度な情報ネットワークにより、流通、金融、行政手続、福祉、医療等の双方向型の生活利便サービスを提供する。



## ( 4 ) 高いモビリティを確保する都市

### 国際空港・新幹線との直結

中部国際空港・新幹線との直結や、リニア中央新幹線の整備により国内外から迅速にアクセスできる都市とする。

### 東海環状自動車道を軸とした新首都交通ネットワークの形成

東海環状自動車道を軸として、名古屋大都市圏の様々な機能を連携させる広域交通ネットワークを整備する。また、名古屋、母都市との円滑な連携を図るため、道路整備や鉄道の直通化、新交通システムの導入等を行う。

### ユニバーサルデザインの徹底

障害者・高齢者や、子ども、外国人を含め、誰もが円滑に情報を入手し、快適に移動できるよう、ユニバーサルデザインの行き届いた都市づくりを行う。

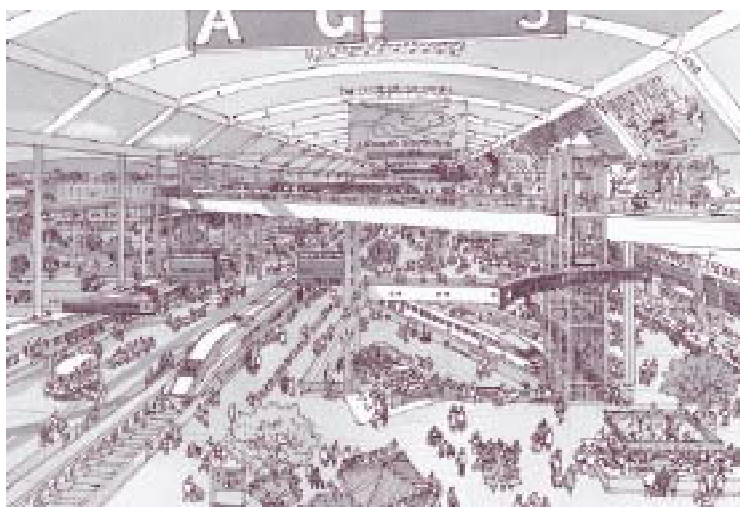
### 産業技術を活かした高度な交通システム

自動車やIT関連産業の世界的な集積を活かし、ITS（高度道路交通システム）等の活用により安全、便利、快適な交通システムを構築する。

### 乗り換えを円滑にする交通体系の整備

広域交通網と地域交通との乗り入れ等のスムーズな連携や、鉄道、バス、自家用車等の様々な交通手段の乗り換えを円滑に行うことができる交通体系を整備する。

また、デマンドバス、カーシェアリング等の導入により、環境対応の交通体系を構築する。



---

## ( 5 ) 新しい文化を創造する都市

日本の歴史風土を基に新時代の文化を創造

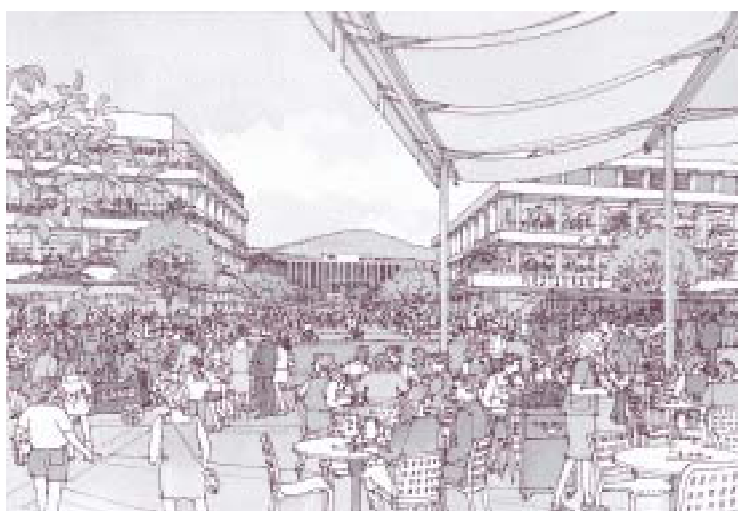
新首都は、日本の豊かな文化、風土を国内外に示すとともに、様々な国の人々との交流・連携により、新たな文化や理念を創造、発信していく場を提供する。

魅力的な景観形成

豊かな緑、河川・溪流等周りの景観に合った風格ある街並みづくりや、ゆるやかな地形を活かした施設の整備を行い魅力的な景観を形成する。

来訪者へのもてなし

国内外から新首都を訪れる様々な人々が快適に活動できるよう、宿泊施設の整備、案内情報や各種サービスの充実、地域住民の心のこもったもてなし等十分なホスピタリティを持った都市づくりを行う。





### 3 . 新首都のフレーム

#### ( 1 ) 人口 移転人口は 20 万人程度に

##### 既存サービス機能の活用

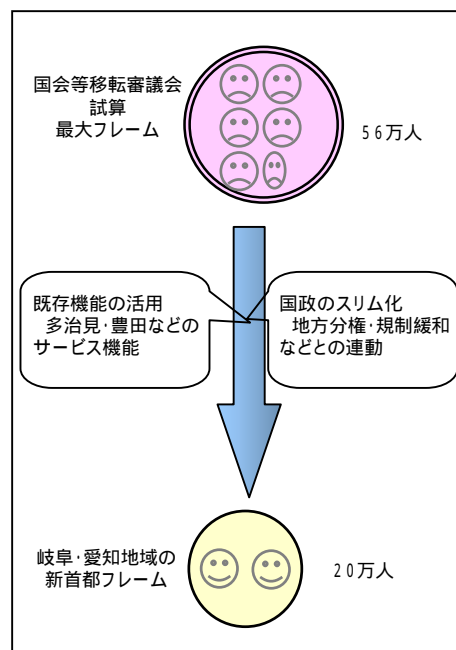
多治見市、豊田市などの母都市のサービス機能を活用することで、サービス機能従事者の移転が大幅に減少する。

##### 国政の諸改革によるスリム化

地方分権や規制緩和など、現在進められている国政の諸改革を首都機能移転と連動させて行うことで、国の省庁や特殊法人など移転従業者を大幅に縮減することができる。

\* 縮減の数値については、「首都機能移転の新たな提言」( (財) 社会経済生産性本部、H12 ) によった。ただし、司法機能については移転するものとした。

これらのことから、移転人口は、国会等移転審議会が想定する56万人に対し、20万人程度になる。



(単位 人)

	国会等移転 審議会試算 (最大値)	岐阜・愛知地域 人口フレーム	備考 (岐阜・愛知地域の考え方)
移転従業者(1)	95,000	57,000	
首都機能	51,000	33,000	中央省庁・外局の移転人員削減など
準首都機能 (大使館員・政党職員等)	18,000	14,000	特殊法人・認可法人等の移転人員削減など
民間随伴機能 (企業の出張所・支社)	26,000	10,000	政策関連機能に限定
サービス機能従事者(2)	184,000	44,000	母都市のサービス機能従事者で約68,000人を補充
(1)と(2)の家族の非就業者	278,000	101,000	就業率50% (審議会試算と同様)
合計	560,000	200,000	概数のため合計は一致しない。

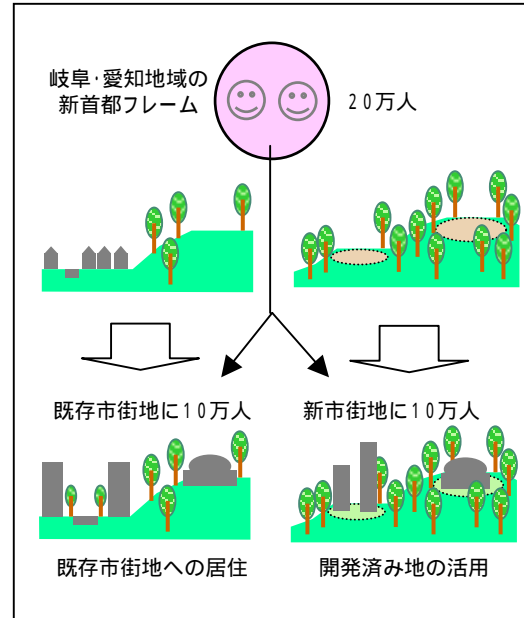
## ( 2 ) 面積 開発済み地を中心に約 2,000ha

### 既存市街地の整備・活用

母都市の既存市街地を活用することにより、移転人口20万人のうち10万人程度を居住させることが可能である。

従って、新たに必要となる住宅地区は大幅に縮減でき、国会等移転審議会の想定する面積8,500haに対し、約2,000haとなる。

なお、ゴルフ場等の開発済み地を優先的に活用することで、新規造成・開発を最小限に抑えることができる。



(単位 ha)

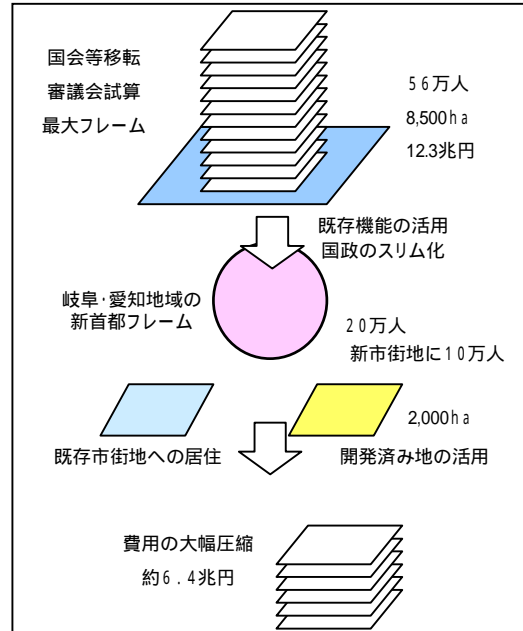
	国会等移転 審議会試算 (最大値)	岐阜・愛知地域 面積フレーム	備考 (岐阜・愛知地域の 考え方)
業務地区	600	600	基本機能であり同 等水準を確保
首都機能用地(国会・官庁・最高裁等)	200	200	
準首都機能・民間随伴機能用地 (大使館・政党本部等)	100	100	
サービス施設用地(コンベンション施設等)	40	40	
公共施設用地(公園・道路・駅等)	300	300	
住宅地区	7,900	1,400	移転人口の削減 既存市街地吸収
住宅地区(集合住宅・一戸建て)	4,200	700	
公益施設用地(学校・福祉施設・病院等)	800	150	
サービス施設用地(商業施設等)	200	50	
公共施設用地(公園・道路・駅等)	2,800	500	全体面積の35%
合計	8,500	2,000	概数のため合計は 一致しない。



### (3) 費用 人口・面積の減に連動し約6.4兆円

人口減、面積減により費用は大幅縮減

(1)人口・(2)面積フレームをもとに、新首都の建設費用を試算すると、国会等移転審議会の試算12.3兆円よりも大幅に低い約6.4兆円となる。



(単位 億円)

	国会等移転 審議会試算 (最大値)	岐阜・愛知地域 費用積算	備考 (岐阜・愛知地域の考え方)
施設整備費	86,000	30,800	
首都機能施設	11,000	8,300	単価等は審議会による
準首都機能施設	5,000	2,500	単価等は審議会による
サービス関連産業施設	12,000	4,300	単価等は審議会による
住宅	37,000	6,800	新市街地56万人 10万人
その他	11,000	8,900	
基盤整備費	25,000	15,300	面積8,500ha 2,000ha
用地取得費	9,000	3,600	地価調査より
広域交通インフラ費	3,000	2,500	単価等は審議会による
既存市街地住宅建設・用地費		11,300	既存市街地への居住
合計	123,000	63,500	

## 4 . 新首都の都市構造

### ( 1 ) 全体構造

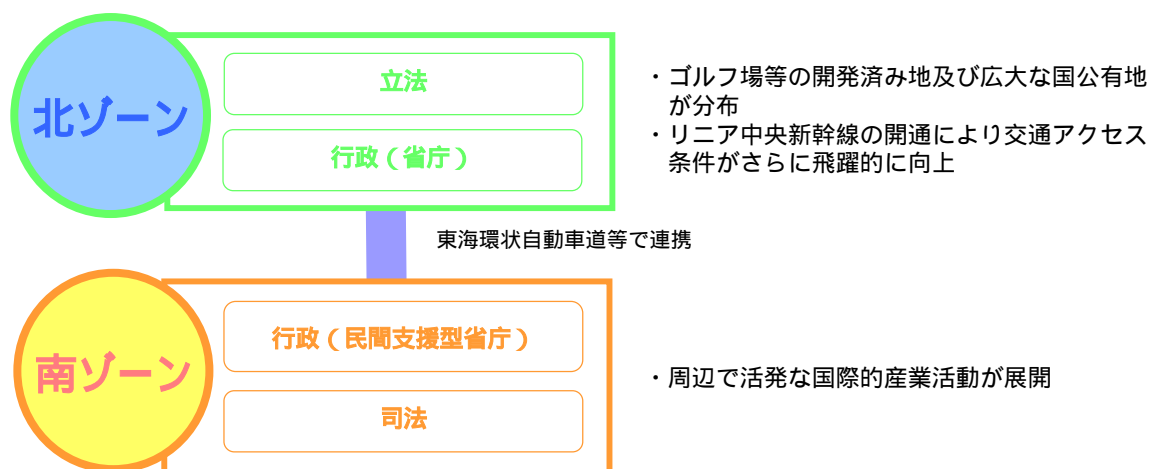
岐阜・愛知地域には、首都機能を受け入れるための十分な用地があり、様々な都市構造パターンを想定することが可能であるが、ここでは、国会等移転審議会の検討過程で示された新都市イメージをもとに、新首都の都市構造について、ケーススタディを行う。

新首都は、環境への配慮や、移転規模・コストを最小限に抑えるとともに、多くの母都市の機能を活用できるよう、北ゾーン（岐阜東濃地域）および南ゾーン（西三河北部地域）の2つのゾーンで形成する。

#### 各ゾーンにおける機能分担の考え方

北ゾーンには、ゴルフ場等の開発済み地及び広大な国公有地が分布するとともに、リニア中央新幹線の開通により交通アクセス条件がさらに飛躍的に向上しうることから、立法機能及び行政機能を配置する。

南ゾーンには、周辺で活発な国際的産業活動が展開されるため、民間支援に関わる行政機能や司法機能を配置する。



---

## ( 2 ) 各ゾーンの都市構造

### 北ゾーン

北ゾーンには、東海道新幹線や中部国際空港と直結し、将来的にはリニア中央新幹線も乗り入れる中央駅を玄関口として、立法、行政、国際交流、サービス業務、住宅、研究開発等の地区を配置する。

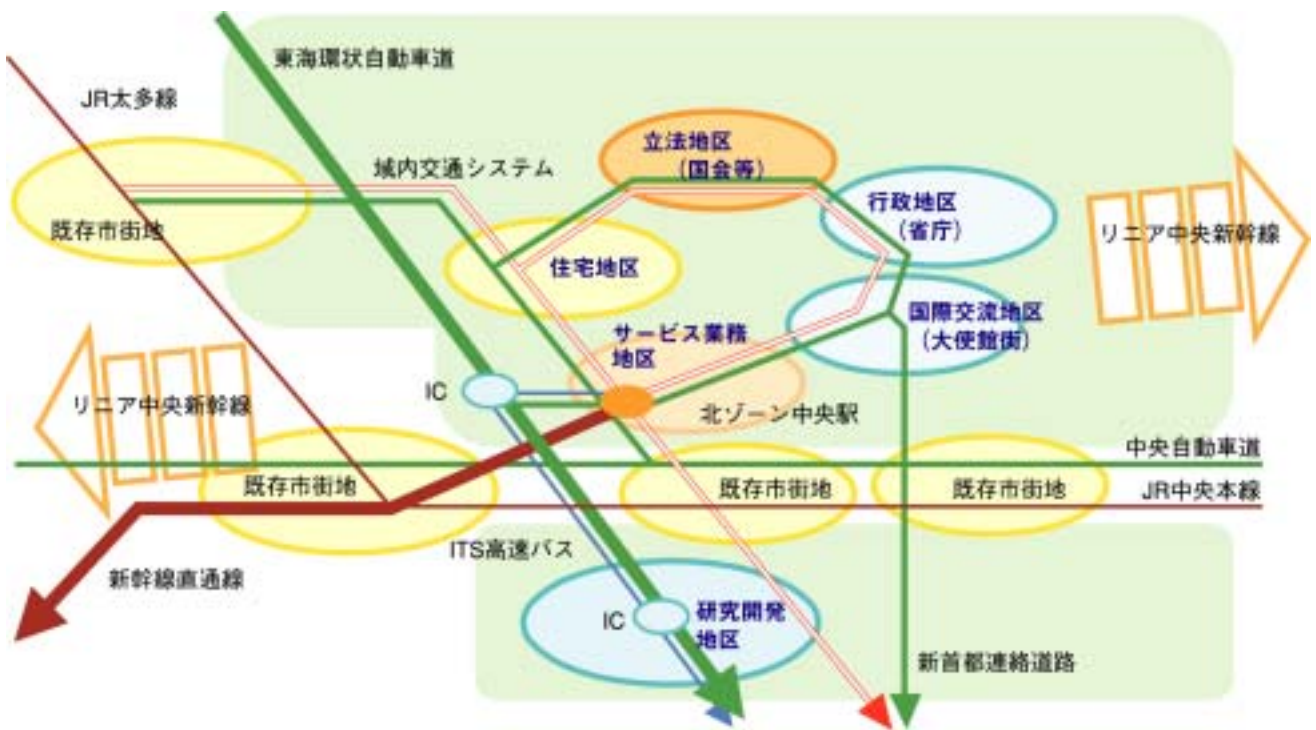
これらの地区は、域内交通システムで結ばれているほか、既存市街地、東海環状自動車道等とも結ばれている。

### 南ゾーン

南ゾーンには、同じく東海道新幹線や中部国際空港と直結する中央駅を玄関口として、司法、行政、サービス業務、住宅等の地区を配置する。これらの地区も、北ゾーンと同様に域内交通システム等で結ばれている。

北ゾーン都市構造図





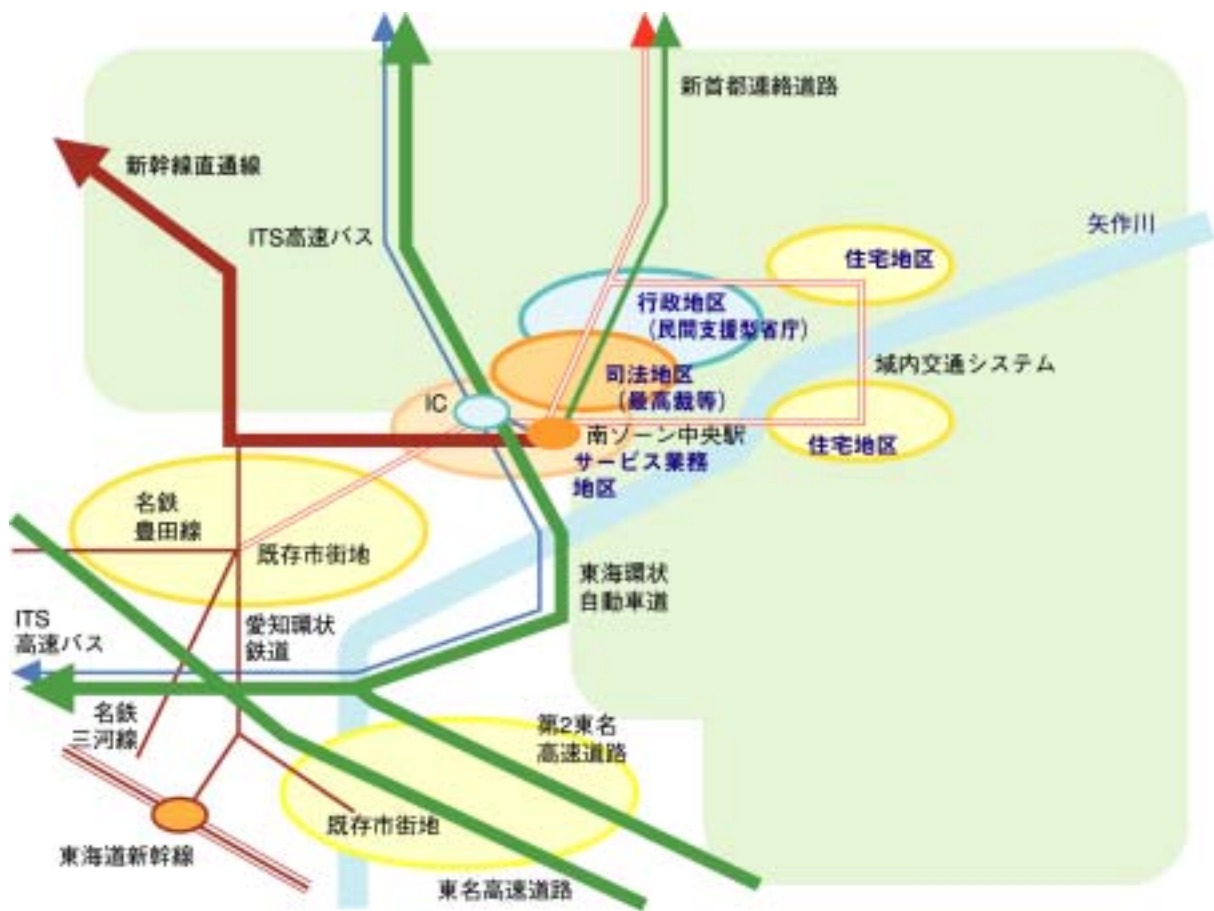
南ゾーン

南ゾーン都市構造図





北ゾーン





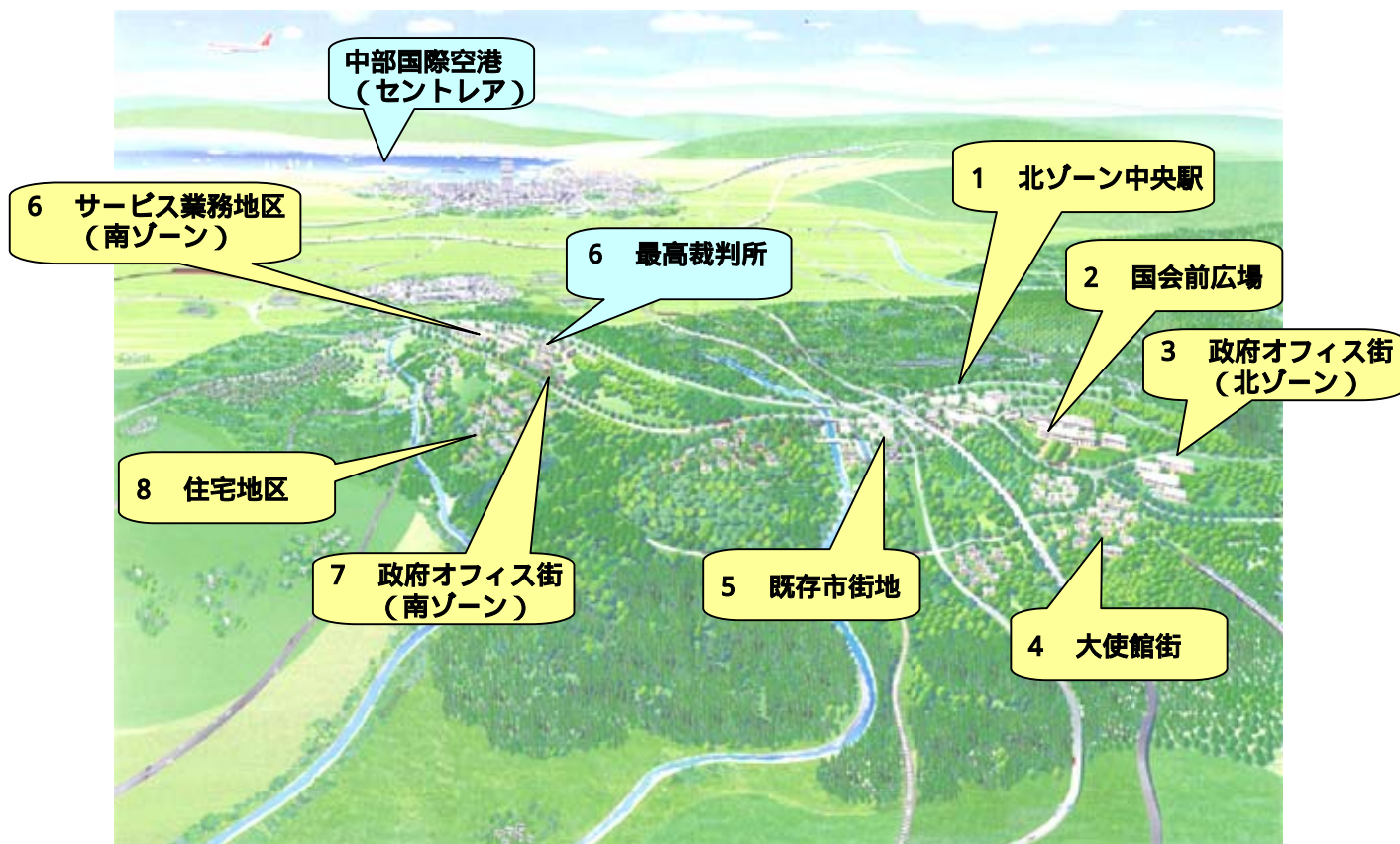


## IV. ようこそ新首都へ！

2025年、新首都で初めて国会が開催されてから10年後

これは、国の省庁で働く美咲さんが、国際会議のため日本の新首都を訪れたアジアのA国政府職員ドゥルックさんを案内する場面を想定したものです。

二人は東京にある大学の同窓生です。ドゥルックさんは、首都機能が移転して初めての日本訪問です。



## 1 北ゾーン中央駅

- ・ 伊勢湾に浮かぶ中部国際空港に降り立ったドゥルックさんは、直通電車で新首都の玄関である北ゾーン中央駅に着きました。
- ・ 北ゾーン中央駅には、空港と30分台で結ばれる直通電車のほか、東京や大阪へ30分で行けるリニア中央新幹線、主要都市とつながる東海道新幹線直通線も乗り入れており、国内外どこへ行くにも便利です。
- ・ ユニバーサルデザインの行き届いた中央駅では、外国人や障害者、高齢者などだれでも簡単に移動できます。
- ・ 航空会社のチェックインカウンターもあり、空港での待ち時間も短縮できます。

「とても便利だね。昔は、成田から東京まで1時間以上かかったよ。」

「そうね。ここは、世界各国からアクセスしやすいだけでなく、日本の真ん中で交通も便利だから、まさに日本の首都にふさわしいところよ。」

- ・ 二人は、域内交通システムに乗りかえ、国会前広場へ移動します。





## 2 国会前広場

- ・ 国会は、緑豊かな環境にあります。遠くには美しい御嶽山を望むことができます。ここは、ゴルフ場などの開発済み地を活用しており、建物は最先端の環境技術で造られています。
- ・ 国会前広場では、新首都観光に来た大勢の人がくつろいでいたり、スクリーンに映し出される議事の様子を見たりしています。もちろん、内部にも気軽に入ることができます。
- ・ 国会前広場は、国民が政治について自由に討論する場でもあります。今日は、いくつかのNPOがそれぞれのテーマで討論会を開いています。全国各地から多くの人たちが参加しています。国会議員、国の省庁の職員の姿もみられます。
- ・ 他にも、各政党のPRブースが出ており、現在、国会で審議がなされている議案についての考え方を展示しています。

「随分、変わったね。僕が東京にいたときは、関係者以外は国会議事堂に近寄ってはいけない雰囲気だったよ。」

「親しみやすくなったし、みんなが前よりも、政治について考え、意見を言えるようになったわ。次は、政府のオフィス街を案内するわ。」



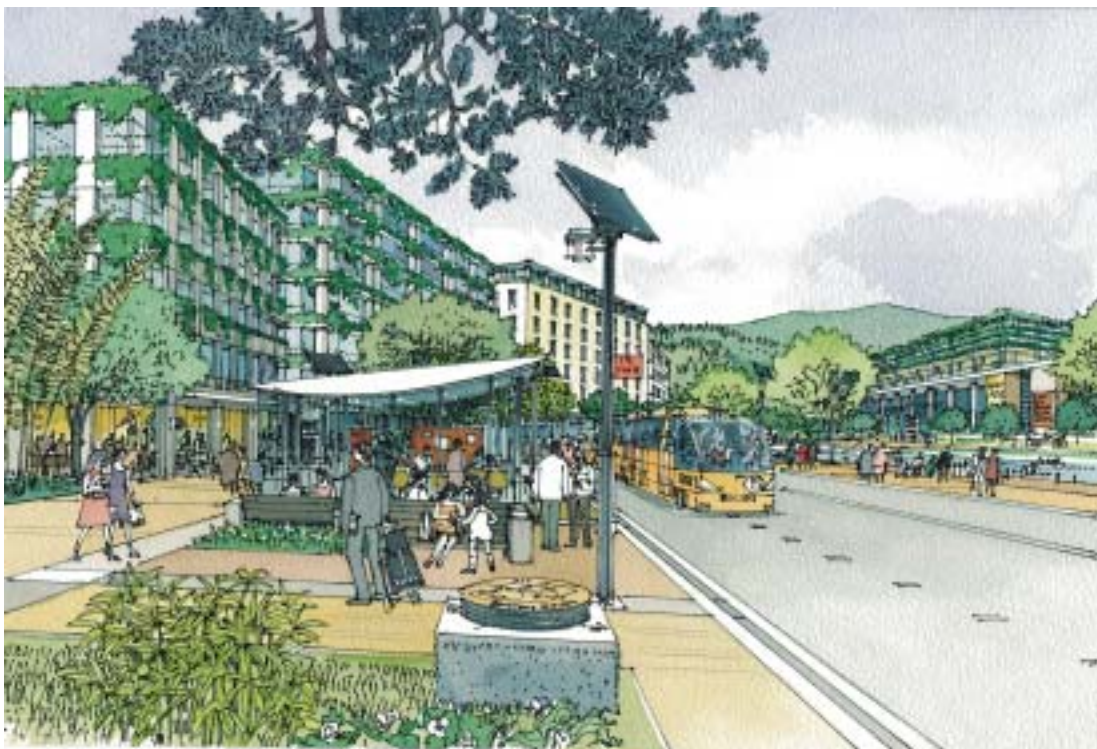
### 3 政府オフィス街（北ゾーン）

- ・ ここでの移動は、公共交通機関のほか、街角に置かれたシェアカー（共有車）が中心で、自家用車の乗り入れは規制されています。
- ・ どの建物にもプロジェクト用のスペースが設けてあり、各省庁や自治体の関係職員が集まって議論し、連携が一層緊密になっています。
- ・ 政府オフィスのとなりにはNPOのオフィスもあり、政策の形成と実施に大きな役割を果たしています。
- ・ 通りの反対側には、日本の豊かな歴史と文化を国内外に紹介する施設もあります。

「昔の霞ヶ関とは、随分、雰囲気がちがうね。活気があって、日本のために働いているという感じだね。」

「今は、地方分権が進んで陳情なんてないのよ。それぞれの地域が、生き生きと活動していて、私たちは、それをお手伝いするの。新しい事をみんなで考えるのはすごく楽しいわ。」

- ・ 美咲と、ドゥルックさんは、国際会議の打ち合わせのため、大使館街へ向かいます





## 4 大使館街

- ここには、国々の個性豊かな大使館が並んでおり、広場は交流イベントでにぎわっています。
- 各国は、東京の頃のように、ビルを間借りする必要もありませんし、そこで働く人たちの住宅もゆったりと確保できます。
- 大使館街の中ほどにある交流プラザでは、外交官と省庁職員やNGOのスタッフが、国際協力について話し合っています。
- そこには、各国の様子を紹介する写真や特産民芸品などが展示されており、ちょっとしたミュージアムのようなスペースも設けられています。訪れた人々も気軽に立ち寄って、それぞれの国の文化や歴史に触れることができます。

「東京では、地価が高くて、大使館を持つことができなかったけれど、ここではゆったりとした大使館ができて、本当にうれしい。」

「本当に良かったと思うわ。東京のころは、大使館のない国が60か国以上もあったと聞いているわ。」

- 次は、美咲の職場に案内するため、南ゾーンへと向かいます。



## 5 既存市街地

- ・ 南ゾーンへは、東海環状自動車道を走るITS高速バスで 15 分ほどです。また、域内交通システムや新首都連絡道路でも結ばれています。
- ・ 周辺には、多治見市や豊田市などの、既存の市街地が広がり、これらの都市の機能が新首都の活動を支えています。また、新首都で働く人の多くもここで暮らしています。
- ・ 昔からの商店街は、新しい住民のため朝市を開くなど、工夫を凝らしています。再開発により、歩道は広く、公園もたくさんでき、人々が歩きやすくゆったりとしたまちとなりました。新しいカフェや様々な店舗もでき、にぎやかな雰囲気です。
- ・ 新旧の住民が交流し、新しいコミュニティが生まれています。

「昔からあるまちを活用することで、暮らしやすいまちができたんだね。」

「そうよ。そのおかげで自然環境も破壊せず、費用も抑えることができたの。さあ、もうすぐ南ゾーン中央駅に着くわよ。」



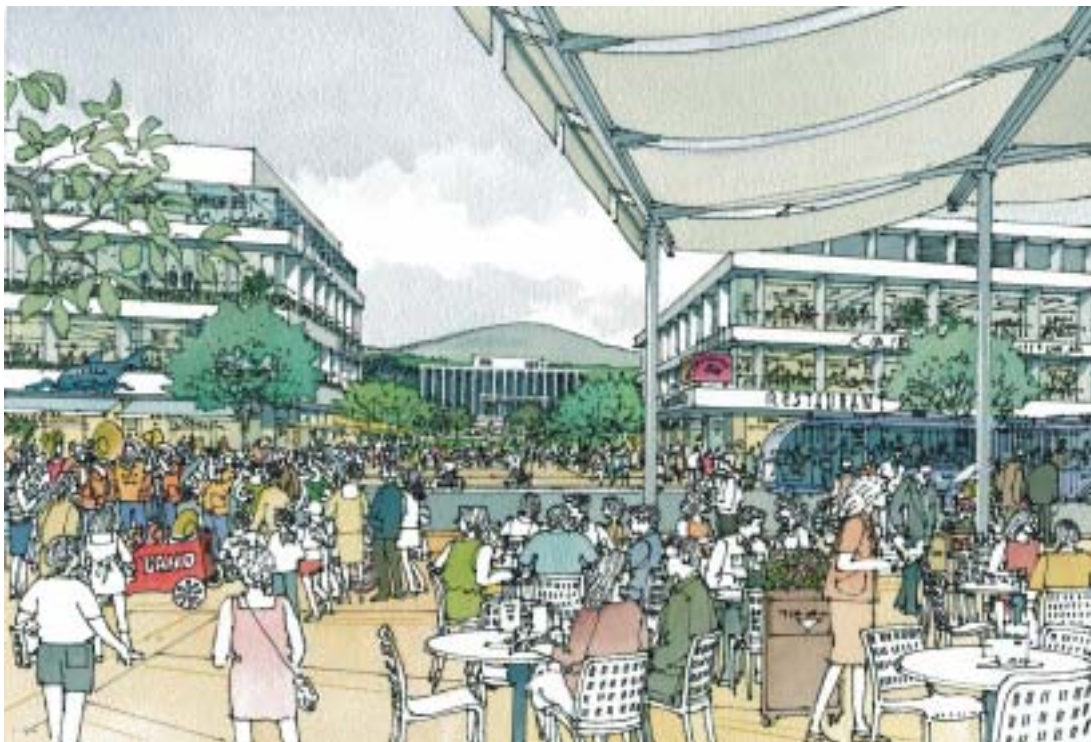


## 6 サービス業務地区（南ゾーン）・最高裁判所

- ・ 南ゾーン中央駅は、新首都の南の玄関で、中部国際空港からの直通線や新幹線直通線の発着駅です。ここを中心にサービス業務地区が広がっています。
- ・ ここにはホテルやショッピングモールなどがあり、多くの人々にぎわっています。国内外の観光客の姿もたくさん見られます。緑も多く、ゆったりと楽しく過ごせます。
- ・ にぎわいの向こうには、落ち着いたある最高裁判所の建物、その奥には猿投山が見えます。
- ・ 二人は、カフェで、おしゃべりを楽しみました。

「思っていたよりずっと活気があって楽しいね。あのストリートパフォーマンスも面白い。ずっといても飽きないね。」

「あそこに見えるのが、最高裁判所。以前は近づきにくい雰囲気だったけど、今はちがうわね。じゃ、私のオフィスに案内するわ。」



## 7 政府オフィス街（南ゾーン）

- ・ 二人は、美咲が勤務するオフィスへやってきました。
- ・ プレスルームでは、現在検討中の政策について発表が行われています。今では検討段階から国民の意見を反映させるシステムが確立しています。
- ・ インフォメーションオフィスでは、建物内や政府オフィス街全体の情報を提供しています。もちろん省庁で検討あるいは実施されている様々な施策に関する情報なども得られます。
- ・ 美咲の職場では、明日の会議のため、最先端の情報システムを使って、外国との打ち合わせも行われています。

「明るくて、入りやすい雰囲気だね。国民に開かれているね。」

「バリアフリーも完璧よ。誰でも、簡単に情報を得られるようにしてあるのよ。そして、日本の司令塔でどんな災害に対しても安全なようにつられているのよ。」

- ・ オフィスを出た二人は、美咲の家に向かいます。





## 8 住宅地区

- ・ 美咲の家は、南ゾーンの住宅地区にあります。広い庭付きの一戸建てです。この住宅地区も、開発済み地を活用しています。
- ・ 美咲の夫が出迎えます。彼はエンジニアで、情報端末を使って在宅勤務をしています。
- ・ 今夜はドゥルックさんの歓迎パーティー。夕食の準備ができるまで、ドゥルックさんは、子どもたちに案内され、家の周りを散歩しました。家々には、すべてソーラーシステムが取り付けられ、リサイクルボックスが随所におかれるなど、住宅地区全体で環境にやさしい暮らし方が行われています。
- ・ ホームパーティが始まりました。

「ゆったりしているし、何よりも環境にやさしい暮らしだね。」

「そうね。東京にいたころは考えられなかった。それに、職場も近いので日頃も家族でゆったり過ごせてうれしいわ。この野菜、おいしいでしょ。うちの庭でつくったのよ。ここに引っ越してから本当に毎日が充実して楽しいわ。」



「今日、新首都を回ってみて、本当に日本も変わったんだなと実感したよ。我が国も見習うべきところが多いなあ。」

「会議が終わったら、東京へ行ってみたらどう。北ゾーン中央駅からリニアで30分よ。東京も変わって、今まで以上に魅力的になったわ。」

「日本が今、世界をリードしているのは、首都機能移転のおかげだね。僕も国を良くするためにがんばるよ。」

